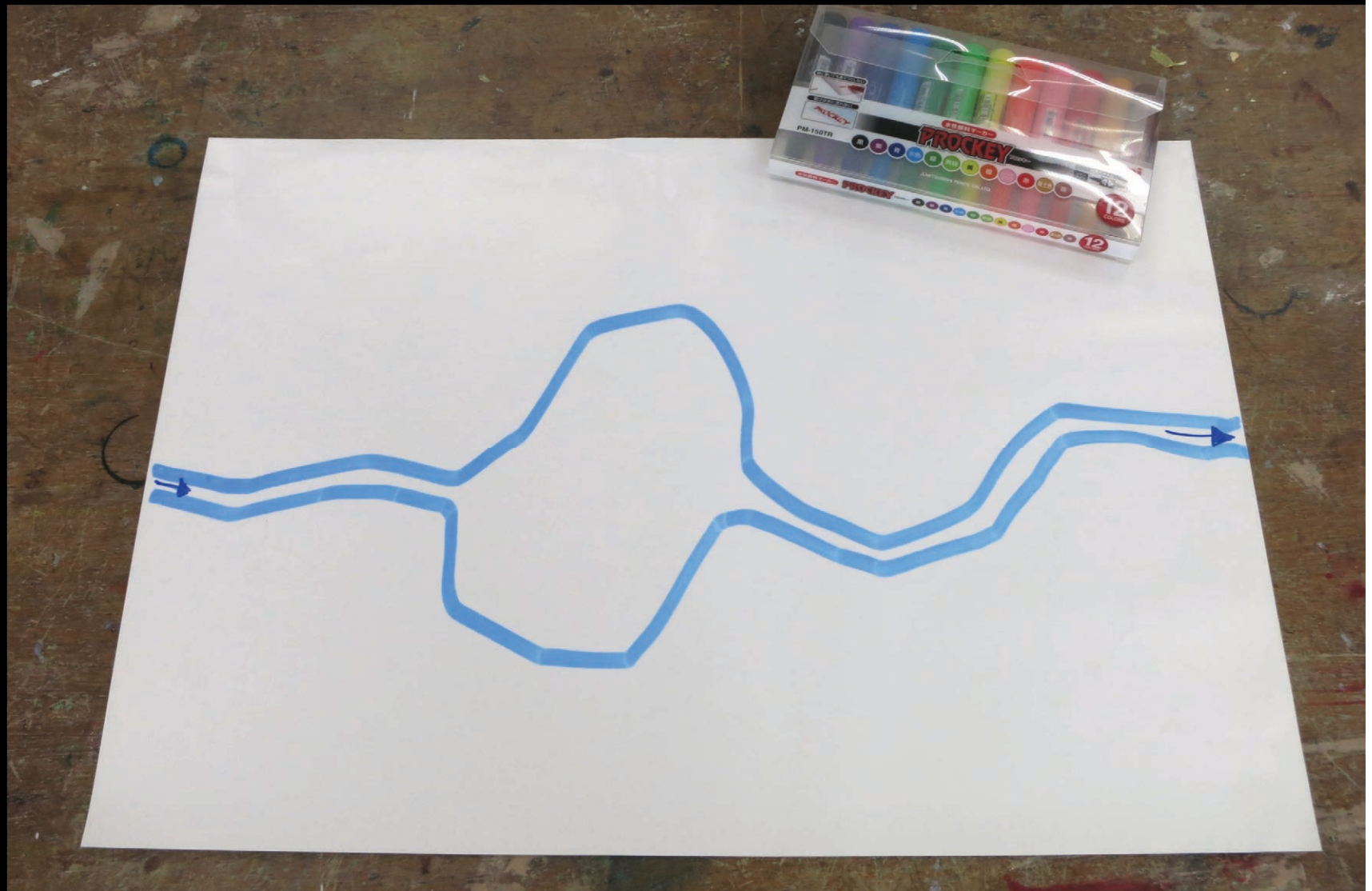


「ホタル池」のある まちづくり

～授業者向け解説～

- ・**マーカー** (12色程の太字のものが使いやすい)
- ・**模造紙** (B2程度。ポスターの裏紙などでも可) × 班数分 (一班4,5人)

※ 模造紙には事前に【上流下流の川と矢印、中央の池】を描いておく。



『ホタル池』のあるまちづくり

まちを貫く川の中央にできた大きな池。ここでは、上流から流れ込む澄んだ水場に、たくさんの珍しいホタルが住んでいます。この池は近隣住人の生活を支えるとともに、きれいな池での散策や釣りを楽しむ人たちがまちの外からもやってくるなど、まちのシンボルになっています。池を中心に、近隣に住む人たちの暮らしがより良いものとなるように、まちで暮らす様々な立場の人たちの意見を組み入れ、まちの自慢の『ホタル池』がまちの内外に親しまれる場所になるように工夫して、みんなが納得する自慢の美しいまちをデザインしましょう。

県庁（インフラ整備担当）

地域住民の生活水準向上のために、以下の施設を設置してください。

●道路 ●駅 ●発電所

市役所（地域環境担当）

地域住民が快適で安全に過ごせるように、以下の施設を設置してください。

●住宅 ●学校 ●公園

産業従事者

まちには、一番の自慢のホタル観光のほかにも、トウモロコシ栽培、養鶏といった産業もあり、それらの食品を加工して販売することで、より収益を高くすることができます。また、人体には有害な化学薬品を生産する工場もあります。それぞれの産業活動がより便利で利潤を生み出しやすくなるように、以下の施設を設置してください。

●トウモロコシ畑 ●養鶏場 ●食品加工工場 ●化学薬品工場

商業従事者

主にまちの人たちに自分たちが収穫したものを売る、小売業を生業とする人がたくさんいます。その他、大型のショッピングモールや観光客目当てのレストランや土産物屋を経営する人もいます。それぞれの売上が伸びるように、以下の施設を設置してください。

●生鮮食品市場 ●ショッピングモール ●レストラン ●土産物屋

指示プリント

●は基本的に全て描くように指示状況に応じて追加したり、減らしたりしても良いが化学薬品工場、学校、住宅等は外さない。

化学薬品工場の設置場所が非常に重要。上流に設置すると池や町に影響があるため下流に設置する班が大半になるはず。

学校や住宅、畑などは上流に設置する班が多い。

↑ができていれば、その他の●はどこに設置してもワークショップ的には影響ない。

無理に仕向けないように注意。多分普通に話し合いをすればある程度自然に狙い通りになるはず。

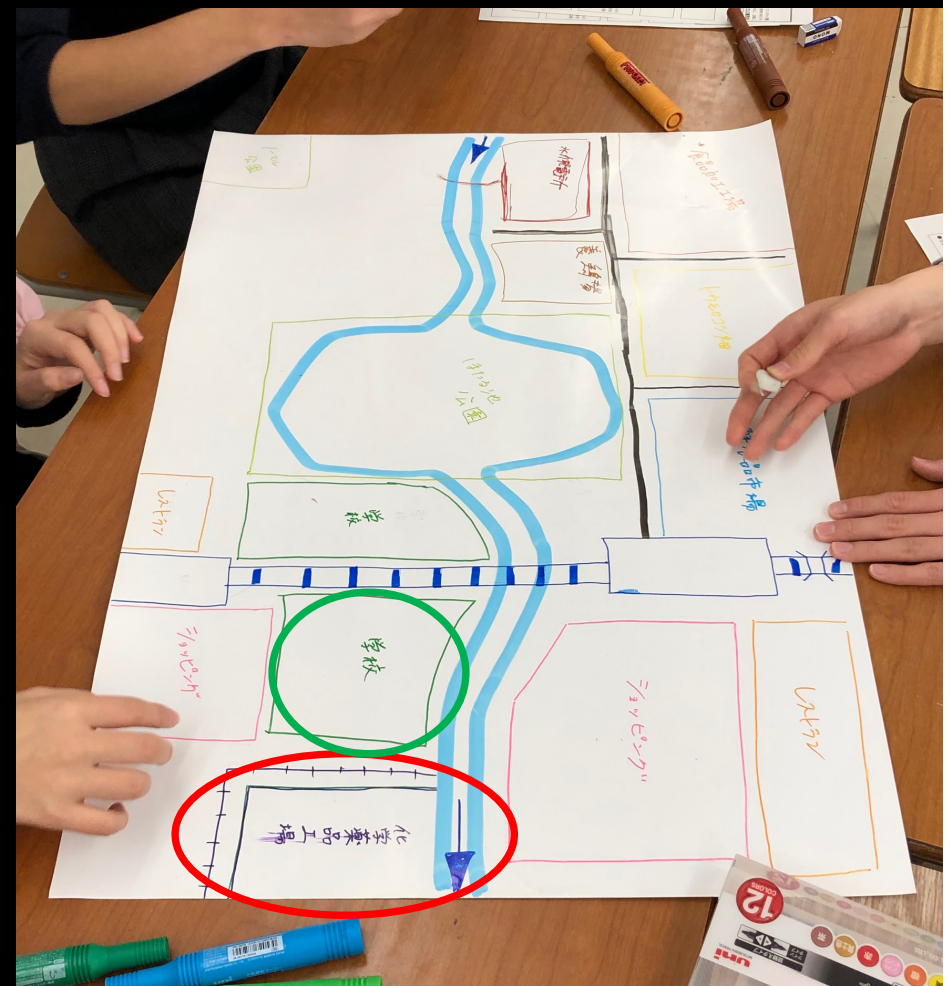
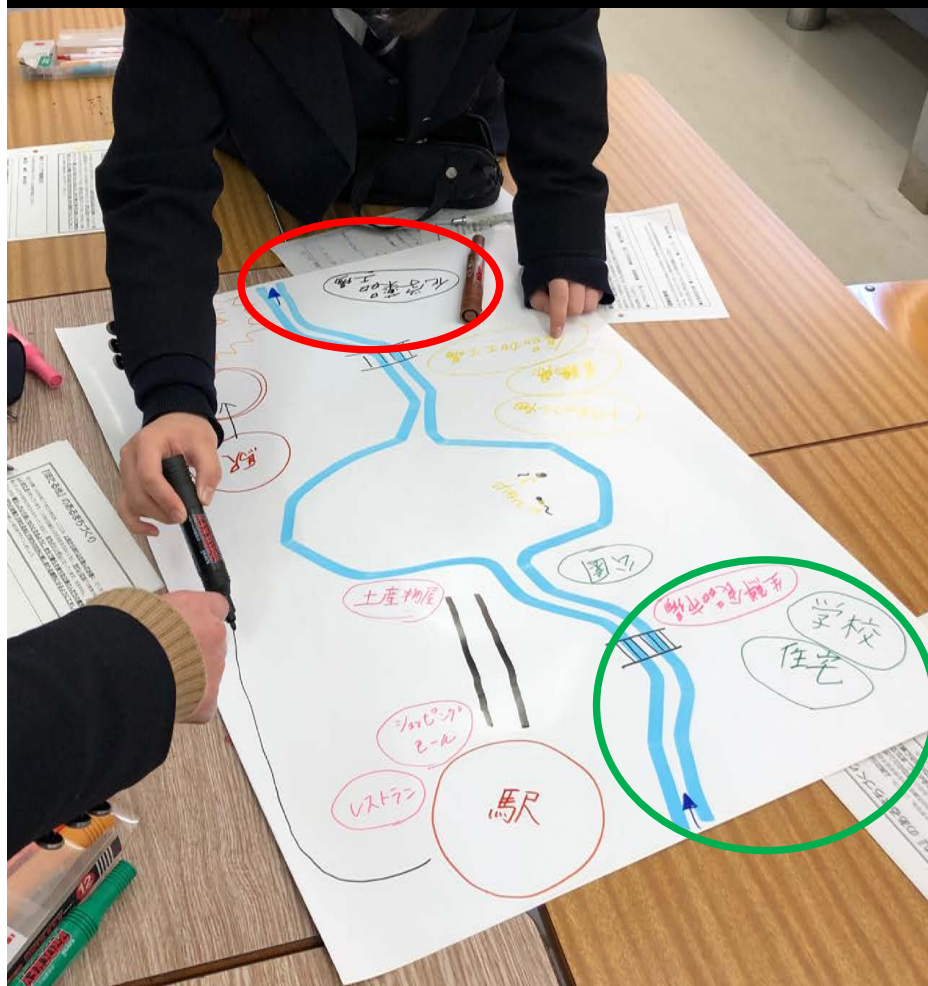
リストにないものも描いてよい(森、警察署等)

制作風景

化学薬品工場はどちらの班も下流に設置している。

左の班は学校、住宅を上流へ設置。右の班は下流のしかも化学薬品工場の隣へ設置。

ワーク的には左の班の設置場所が望ましいが、右の班を無理に修正させたりはしなくてよい。



発表

各班で作ったまちを全体に対し1分程度で発表する。

・タイトル「●●●」のまち ・私たちのまちの特徴、工夫、等

※それぞれの班の場所で立たせるなどして、この時点では他の班の紙と近づけないほうが良い。

各班それぞれ工夫を凝らしたまちができあがるが多くの班が下の工夫をしているはず。

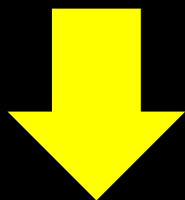
「**上流に学校や住宅街**（または畑や森等）を設置し、**下流に化学薬品工場**を設置しました。」

- ◆上流から流れ込む澄んだ水
- ◆珍しいホテル
- ◆まちのシンボル
- ◆暮らしがより良いものとなるように
- ◆まちに住む様々な立場の人たちの意見をしっかり取り入れる
(住民、商店、工場、観光業・・・等)
- ◆タイトルを考える 「●●●」のまち



講評

: 各班発表終了後に簡単なコメントをはさみつつ、全ての班の発表後、改めて全体の講評をする。各班の工夫を褒めつつ和気藹々とした雰囲気をつくる。



講評終了後、着席させ一呼吸おいて静かにさせてから・・・

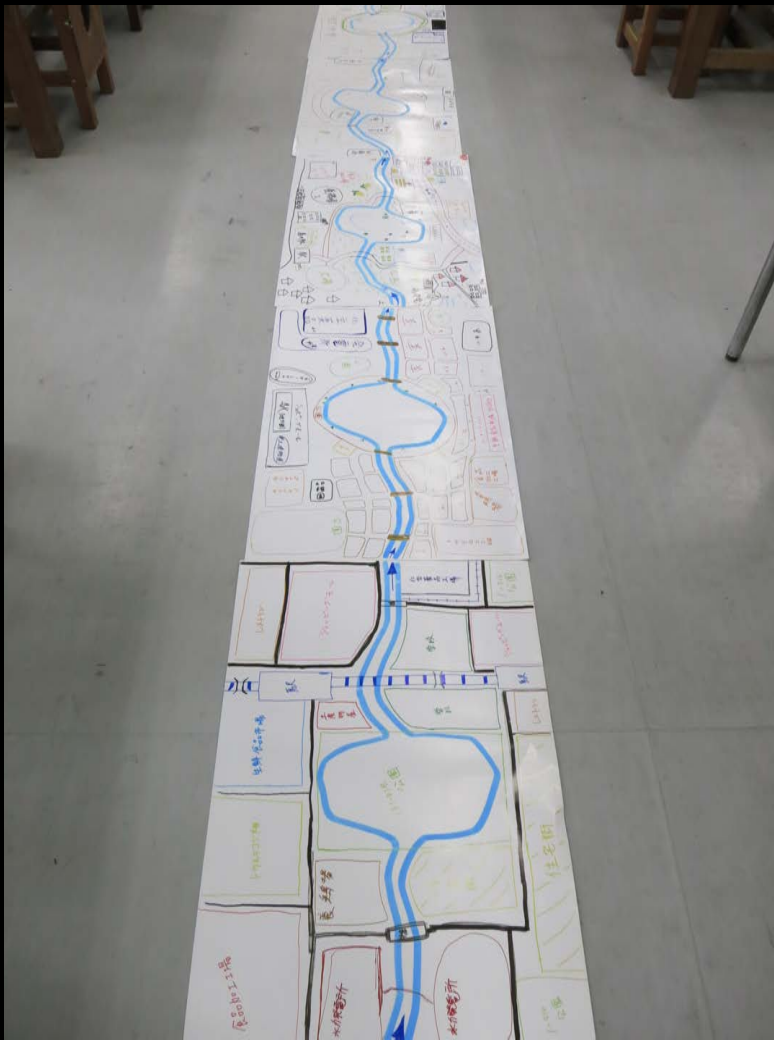
展開

: 黒板やクラス中央の床など広い場所でまちをつなげる



まち外れの下流に設置したはずの**化学薬品工場**が、まちをつなげると次のまちの上流に設置されている**学校、住宅、畑**のすぐ隣になってしまった。

「私」だけが 「私」のまちだけが 「私」の国だけが・・・



住み続けられるまちづくりのために 今、あなたは
何ができますか？ 何をすべきですか？

班内での話し合い



SDGsの解説 「11:住み続けられるまちづくりを」



振り返りシート記入

目標:

造形的な視点を通して問題解決を創造的に考察できるような感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

評価基準:

他者と意見を共有し理解し合いながら一つの形にまとめ、そこで生じた新たな問題に気付き、持続可能な社会や世界を築くための問題解決方法を、造形的な視点を通して考察することができる。

11 住み続けられる
まちづくりを



◆公開授業での先生方からの感想

いいね！

- ・考え始めると案がたくさん浮かんでくるので時間を忘れて活動ができていた。
- ・落とし所がよい。 ・最後の展開がおもしろい。 ・展開のところで気づきがあるのがとても良かった。
- ・オチもあわせて楽しかった。活動自体もやりがいがあったしまとめやすいと思った。
- ・展開前まではただ「楽しい」で終わってしまいそうな流れが、展開で一気に深く考えさせられる内容になっていて、関心を引きつつSDGsを考えるためのいい流れだった。

そのギャップをより高めるために前半部分は和気藹々とした空気になるように演出し、後半で自分自身の問題として考えていけるようにうまいことファシリテーションするのがポイントです。

- ・自分たちで考えて町を作るが、つなげてみると…という流れがとてもよい。展開の部分はなるほどと思った。展開後の生徒の反応が印象的だった。
- 全ての発表が終わった後、一呼吸置き静かにさせて空気を変えてから展開を行うと効果的です。**

こうしたら？

- ・全部建てるのかどうか、設置物のルールがもう少し明確だと最初の混乱がないかも。
いろいろなものの中にポイントとなるものを紛れ込ませたいので全て描くという方向で良いと思いますが、展開に影響しないものを減らしても(または増やしても)良いと思います。
- ・解決策まで考えさせられたらいいと思う。
展開後の話し合いの時間がありますが答えは出なくてもよいと思います。あとは個々の振り返りで。
- ・どこからスタートするか(考え始めるか)がなかなか難しく、いきなり描き込むと修正できなくなるのが厳しかったので下描きできるとよい。
鉛筆で下描きしてもかまわないのですが、しっかり描くとそれだけで時間が無くなってしまうので、下描きする場合もざっくりと大まかに程度で良いと思います。
- ・「住み続けられる国づくり」でもできるかも。
もともとは環境教育のワークショップだったものを、美術の授業用にアレンジしました。描き込むものや展開後の落とし所次第でいろいろアレンジができると思いますのでぜひいろいろな場面で活用してください。